

金撤廢は上

ル四省其他は存續

新税計畫は上海で頗る不評判

新關稅口來年二月頃

際へて鬱後難に助き機能する處あ が既行を真さ會合し内機の意識を が既行を真さ會合し内機の意識を 熱内の騒ぎは 遺憾に思ふ 盟主と思はれるのは甚だ迷惑

安達內相車中談

【東京十四日登電通】安塗内根は ・ 大局長同伴十三日午後七時中東京 ・ 大局長同伴十三日午後七時中東京 ・ したの如く謝・たが車中時局に圏 ・ したの如く謝・た

安達深の策励云々を自分が照主 の如く見られるのは迷惑室極で の如く見られるのは迷惑室極で に當らん事を期する外他に念さ で高時ん事を期する外他に念さ で置いた、中野君には順解を招 の一致結束に努める事を希望し て置いた、中野君には順解を招

礦產、森林等

民國の大寶庫 六つの民族が住居

一、憩金撤設は江源、浙江、福建、安徽、江西、湘北、湖南七省に實施し東北その他は散験不可能の大體目影がつき近くこれを公布するに決定したがその内容と認識左い起し、上海特體十三日韓』國民政府が新年早と實施すべき撤金撤継、新瀾稅の發表、新稅能盡については『上海特體十三日韓』國民政府が新年早と實施すべき撤金撤継、新瀾稅の發表、新稅能盡については『

つて必然的に創設されることとなりその内跡は

ーカの

新脱物は、(1)関税の増收(n)園民融工業の保管(ぐ)教体税判引上の三大限戦から成り最高大響機新開税々戦は十一日立法部より園民政府に避けるればく最表も明年二月ごろ實施の密である。このに無税するもので整金以上の高率さなる、民國の膨撃はこれがために密さるべしさいふのであるに無税するもので整金以上の高率さなる、民國の膨撃はこれがために密さるべしさいふのであるに無税、<ことの無税、<ことを業務 五分器低五分。この城敷高は一億元である新穂率は(イ)関郡の城敷(ロ)園民融工製機新願税人脈は十一日立接部より園民政府に

與黨少壯派 先づ鎭静に歸 の策動

安達内相の使者中野正剛氏ご 少壯組懇談の結果

は、 でもまで、 では、 でもまでは、 でもまでは、 でもまでは、 でもるが、 一部のでないさいでないが、 でもるが、 一部のでないが、 一部のでは、 でもるが、 一部のであるが、 一部のでないが、 一部のでは、 でもるが、 一部のでは、 できるが、 一部のでないが、 一部の経理派と及ばすが、 できるの本義と機理に基金でないからく、 できるの本義と機理に基金でないから、 でも、 できるの、 一部の経理派は政策を及ばすが、 一部の経理派は政策を及ばすが、 一部の経理派は政策を受くるが好き、 できるのでは、 一部の経理派は、 できるが、 一部の経理派は、 できるが、 一部の経理派は、 できるが、 一部の経理派は、 できるが、 一部の経理派は、 できるが、 一部の経理派は、 できるが、 できなが、 できない、 で

日本の代数も配々十日の後に避つたが、内三首殿部間の観音・正式神論状 の代数も配々十日の後に避つたが、内三首殿部間の観音・正式神論状 を立ていていますりを認め合合やも監理いて院内で説は必然の外域の大変には情報の記述が高一夫れ恋に出版や なたがないた実際に成ては複数代理を一般の四氏は近く総数を設合となった。 ないて必然でした変がある、然も連絡である。なったでので数では、数である。然も連絡である。然も連絡である。なり、一、鎌倉関係式には常原首相代理 一部の総数能に参数が批談に始り散機であるとの金見が酸内滅に実行を招いて必然である。然も連絡 一、鎌倉関係式には常原首相代理 一部の総数能に多数が批談に始り散機であるとの金見が酸内滅に実行を招いて必然を一たの表を破壊が 目下の意致論を記えては、一、大倉関が変が、大のには、一、大倉関が、大のであるとの金見が酸内域に実行を招いて必然を含むるが、大ので必然を含むから、然も連絡 一、鎌倉関係式には常原首相代理 一部の総数能に多数が批談に発してなるが、またを表を書きるのと信はで、近 一、株倉関は高さとなるが、数は、からない、大の際は現になるが、数といて必然を書きるとのと信はで、近 一、株倉関は高さとは、一、株舎関は高さとは、一、株舎関は高さと、 ことを表を書きるといて必然を含むるが、大のであるとのと言になるが、ないて必然を含むとは、ないてなるが、数といて、数との表を数が出談に発表が表には、ないであるが、数といて、数との表を数が、ないであるが、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といて、数との表を数が、数といなが、数といるを数とに対します。 民政黨の對議會策 十六日の總務會から樹立を協議 幣原首相代理繼續論幹部に濃厚

人に職かなんで現はさない。 ではれる際はことにむる、 を報の回を見さ大差なく、 をであり戦争に職なくで 次部であり戦争に職なくで である、だと歌古人 である、だと歌古人

田してゐる、和の三國の通測人は、 他影響を概念でゐるが些語は微磁 質は偏伯、美倫さ同一時似に激磁 である、歌彦人もまた蘇哈胃、質 である、歌彦人もまた蘇哈胃、質 が無能を変である、土曜越特は海場 が無に変である、土曜越特は海場

代は飲牧の民で

軍樂隊演奏 聽衆溢るゝの大盛況

でてたり、新売事業が残いから論 問題にあるが結局が満を封すべき 概弦の問題があるがこれまたが低 はやく遅くたる大津を行くが遅き な目的でするものであるからの絵 はやく遅くたる大津を行くが遅き な目的でするものであるからの絵 はやく遅くたる大津を行くが遅き しのであるを低する

國稅輕減と

地方税との均衡 大藏省案一部修正 げふ内務省ご交渉

「東京十四日景電通」所頭大総徴 養代せる大総職郷一千五百萬周中 地域の出来ののは巴むを得ざるも か見たが、理り四千萬國は日飯の 地域の出来ののは巴むを得ざるも か見たが、理り六百萬國は日飯の 地域の出来ののは巴むを得ざるも か見たが、理り六百萬國は日飯の 地域の出来ののは巴むを得ざるも か見たが、理り六百萬國は日飯の 場での五千萬國は一千萬國の地込 かあり、変り四千萬國は日飯の 場際事 独

御用酒

判正

通都監市達大 店 商 谷 新 =四〇七曜

何事も胸におさめて

此で麻三日変形の鎌定であるさ 香港丸乘客

木村高鐵理事、高見成、後沼謙三本村高鐵理事、高見成、後沼謙三 常てはトルコの名物

職が今年はもう子百依に邀してゐるそして総微数は非年より子二百 他も流った、トルコのモダーン化 他も流った、トルコのモダーン化 地も流った、トルコのモダーン化 が発展でイスタンプールの郷発所で が発展したが、

明東本部 おり せい 一場 東京 おちついて 気持の良い 関東流を始めました。 ぎょうぞ 皆様を揃ひでを出掛け下さい。 ま十一時より午後一時迄、夜五時より七時迄 参拾幾て 関東流御飯付喰放題奉仕 参拾幾て 関東流御飯付喰放題奉仕



臨時首相代理な 温りに更迭すべきでな

大藏修正案を

内務省も承認か

來議會で波瀾を起す問題はない 千葉行の 江木鐵相語る

大藏證券成績

四日登電通】十二日借替

汎太平洋會議

明年秋南京で

滿蒙問題で日本を

壓迫する支那の肚

を無材なく語った

船荷に戦時特

別保險料

鉄電通りカンテ

さ云ふのか……年後とはおい者のする事が心臓に若へてやつりだからこれと戦場に若へてやつ からなから知れのが、これはい 人もあるから知れのが、これはい 人もあるから知れのが、これはい なまでもなく而口首様の意思に使 なられ、一機應時能機化

た機能所根と自己の意思で勝手との名に続て上奏演奏中を経す 数を含つるに決した、全権のお娶。 お恋を決定したと覧へられてゐる 像に着手・音場には國民政府大響。 しめ日本鑑を展達する数日方針の で認かれる池太平に音談は彫刻で、四十名の代表中三分の二を中央監せ で認かれる池太平に音談は彫刻で、四十名の代表中三分の二を中央監せ

日銀券發行條例

改正案は提出せぬ

歌、魔殿、回々、哈殿の六種に巻 や工学性度し其多くは北殿院画人 七十年性度し其多くは北殿院画人 七十年性度し其多くは北殿を教

いのは連続である。 新人は都高橋 には即定資本なく業成することが 自来ない際だ。 服土観念が過度の 人を服養成を妨げてゐること形だし

を持つてるる時でした。 は、一部報さしてを改 は、一部報さしてを改 が、を脱が駆ければ大 が、を脱が駆ければ大 が、を脱が駆ければ大 が、を脱がないと言って を放っまなってを表

今議會に大事ごり

「東京十四日豊電通」日銀の金銭 からえる必要かり、財通路の総裁を得たが、日銀正食場像 へ提出せぬ事に大概像のが批け決 の際家の見感しは明年上年齢の鑑 ぶした 東北政務委員會

原の職立こ司時に地域した、総る 新物域委員會の根拠と司時に之を 市力會は谷根政府の機立。中央政 明務東北祭費の軍民予治實行、監 治分會は谷根政府の機立。中央政 明務東北祭費の軍民予治實行、監 のであるが、全員被一の理前から のであるが、全員被一の理前から のであるが、全員被一の理前から 撤廢內定說 全國統一の建前から ・ 中国日午後三時教修車にて死金、 中国日午後三時教修車にて死金、 事務明編・受け午後四時より振覧 一同さ歓迎舎に臨んだなほ前警長三 長の送迎舎に臨んだなほ前警長三 にて大連小郎子聖長に撃修

署長事務引繼 金州新舊警察

我練習艦隊の

本の数か順、大連解か随く 密軍協会 支配及び本社採用共修の総数艦を新担 要協和合館で配されたが入場者が干三 百人、庭る感況であった、勝目は特に 無識し刻目或長指揮にて

かも知れのこの観測な極いてぬる

出動した

東北軍歸還

か河ら北、

察哈爾

核公交德 IBSTITUTES

他脱するに内定したさの説が有力 佛新内閣も

千圓

の ひ

短命か 一次 第一、第二 同軍は出版とにが、 地震に、東兵隊は北線で出版したが、 地震に、東兵隊は北線で出版したが、 地震に、東兵隊は北線で出版したが、 を限に、東兵隊は北線、緩州にそ をでは北線、緩州にそ をでは北線、緩州にそ をできるという。 を関することに決定し、必 をできるをという。 をできるという。 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできる。 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると。 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると、 をできると。 をできると、 をできる。 をできると、 をできる。 をできると、 をできる。 をでき

なるが数百度圏のります弊社を行の規模には毎月之のな知らずに受取ら を表が数百度圏のります弊社を行の規模には毎月之事を を表が数百度圏のります弊社を行の規模には毎月之事を 一上海主円局、視察情報には毎月之事を 大連發十二月廿八日、大連着一月四日 大連發十二月廿八日、大連着一月四日 大連發十二月廿八日、大連着一月四日 大連發十二月廿八日、大連着一月四日 大連發十二月廿八日、大連着一月四日 全球の体 暇 利用 八日間の旅 上海主円局、視察・宿泊料・山川・切 ・ 上海主円局、視察・宿泊料・山川・切 ・ 大連登十二月廿八日、大連着一月四日 ・ 大連登十二月廿八日、大連着一月四日 ・ 大連登十二月廿八日、大連着一月四日 ・ 大連登十二月廿八日、大連着一月四日 ・ 大連登十二月廿八日、大連着一月四日

石井」警察署長 きのふ着任初登廳

● ハラシュー頭痛にノーシン

の曲【金州電話】 奉天醫學會講演

| 電子製学者は十五日午後四時から 電子製学者は十五日午後四時から ▲再歸熱の発疫(幾田旁證) ▲野 東の消毒に就て(陸滌賞) ▲歸郷 東の消毒に就て(陸滌賞) ▲歸郷 東の消毒に就て(陸滌賞) ▲歸郷 東の消毒に就て(陸滌賞) ▲歸郷 東の消毒に就て(陸滌賞) ▲歸郷 東の消毒に就て(陸滌賞) ▲歸郷

と十六日徳山より旅順へ入港すると十六日徳山より旅順へ入港する 『洲埼」旅順入港

忘年會御案內 金人養以上 大島等鍋 御酒二本付 壹圓五十錢 村 七品 阿酒二本付 壹圓五十錢 村 七品 阿酒二本付 壹圓五十錢 村 七品 阿酒二本付 壹圓五十錢

望六〇四巻泉

新荷着御案内

行 震速型二丁目

天楼在 安全日 昭和五年十二月十四日
・大連市菜町二ノ一七
・大連市菜町二ノ一七 通知申上候日午後一時死去仕候間此段原知各位に御老田リヨ儀豫で病氣の處養生不相叶本 明十五日午後三町途中行列を喰し常安寺に於て執 赤高

・ファイブ

ツク(男子の部)

5月4日

5月4日

9月26日

5月22日

7月6日

全論リレー

全議選手機

経東強烈

全滿選手槽

極利強調

全議リレー

6月4日 福来繁選

ハンティー

明(工和) 5月22日

盛 (施順) 10月5日

二百メートル

唯一(地) 10月5日

利武(曾) 10月6日

正計(大連) 5月2-2日

開始 4分14号6 水谷 第一 (原和四年) 4分18号6 水谷 第一(大 第)10月5日 全新選手機 4分18号8 大阪 第一(大 第) 8月4日 福来発達

4分34秒4 深田 秀雄(大二中) 9月20日 州内中等 4分35秒4 成毛 復居(閩 太) 6月26日 職大副工大

CL) 16分27秒 八頭四球大郎(大連) 10月6日 全議選手權

32分30符8 永谷 海一 (昭和二年)

マ ラ ソ ン 薬剤記録 2時間46分26秒6 後邊 逸 (原和二年) (1) 2時間48分6秒6 八重成業大郎 (大連) 4月18日 福日 マラファ

(2) 2時間52分40時2 波 透 (大連) 4月18日 端日マラソ>

15秒3 触周 触音 (昭和五年) (1) 15秒3 殖 附 航 吉 (大 遼) 9月7日 大理別京徽 (2) 12秒 韓 山 昌 郑 (秦 大) 聖大利工大

医剂型 67号6 柏 木 岩 丸 OER种的

(1) 1分0秒4 山田 使男 (大 池) 10月5日

福州部 40秒 滿海チーム (大正十三年)

道側2分04秒4DACチーム(昭和五年)

第四回第3分29秒全流チーム(昭和年)

|カタログ贈呈|

T

蓝商

司

断然多人

プライ

四百メートル権走

4.6秒 工事チーム(赤城・菅原・坂田・川口)6月22日 全場チャ

八百メートル撤走

高期記録1分32秒7高消ナー→(仲田・中村・同・今年)大正十五年

C131分35秒4{小數數。韓國。松重。據數}10月5日全議選手權

(2)1分3 移6 (出企。廣湖。晚本。今季)5月26日陰大到工大

(\$)1分36秒6《大连二中子一点》9月20日州內中等校 西山·南井·吉禄·被选》9月20日州內中等校

(1) △2分4份4 (DA C + -) 9月7日大部別資訊

千メートル機走

千六百メートル機走

(1)0-2分2-8万(全流 チー・A)8月1-0日全流到10年

\$2分3 0秒6 水谷 審一(大連) 1 0月5日 穩東業體

(6) 54秒5 今井 利武(協大) 5月25日 工大制設大 人百メートル

(1) 2分1分2 三周一二三(大連) 10月5日 全清選手權

千五百メートル

四百メートル

利武(智大)

11秒4 加藤 鎮平(大瀬) 9月20日

医测数数 196 松雅 秀雄(唐和三年)

建剂的维1分69号8 黄田 常旅(昭和三年)

(2) 2分1号8 萬田 繁雄(大連) 8月10日

4分28時8 八重陸業大郎(大連) 4分\$1秒8花田 一彦(大 速)

ル・タイマーが居ない結果活沸體育監査が公認してもないからこのペ スト・ファイブに入れることを避けた。また種目によってファイブに 議たないものがあるがこれは製技会の少ない添沸では致し方あるまい

【同記録は期日の先なるを上記さず△は滿州新記録〇は日本新記録】

(1)410秒8 月 (2) 11秒1 赤城 (3) 11秒2 田中 (4) 11秒4 今井

(2) 22秒9 田中

(3) 33秒1 今并

53秒2 松丽

63野7 末田

(3) 2分9秒4 作田 西崎

14日: の戦、

の、 職人の職務職はまさに願さなつてゐる「マアピつ~~です。

日曜に繰出したサラリー

マンて

お後人際にポーナスがゆきかつてからのこさだすなアー

你は無い人の波で騒つた、解にポーナスの起りが出れて大賞出しの渡途町、建築館、整寮町方館の職店、十四日の日曜日は籐記さは起はれない好天祭に察え

歲

晩の商店街おは賑ひ

演员

も関地が自力に頼って眼中端鏡を損なはずに帰って眼中端鏡を損なはずに帰って水で、沿線のは何處に行つても全く不景氣のはであるが今少かく官談に頼る弊があるが今少があるが今少

・ 本職とう概が事代につき大連条票 おき館では鞭撻されって死人捜査 高等館では鞭撻されって死人捜査

関数高等係機能脱で乗割を改して を取り、十四日日曜に上端らて早額 をリ、十四日日曜に上端らて早額 をリ、十四日日曜に上端らて早額 をリ、十四日日曜に上端らて早額 をリ、十四日日曜に上端らて早額

邦人は兎角官憲に頼り過ぎる

大森滿鐵理專視察談

まる四日以來大田學務課長を作び 表の とは 大名四日以來大田學務課長を作び まる四日以來大田學務課長を作び

も関東
副もない意
和が
のでは
い。
本人教育については
改善
とい。
本人教育については
改善
でき點は多々ある。特に誤つ
てゐるのは
教育方針が一定
して
るないために
動もすれば日本の
あん。
著慣を華人子弟に慣ば
し
がる風がある。自分は
公學堂の
がる風がある。自分は
公學堂の

有力なる容疑者

水上署で逮捕取調中

穏ビ

ラ

撒布

い今度の

非常に果だった。

所有物 國 文部省が全國八十四件に對して 門外不出の逸品揃ひ 守 閣始

瀬のである | 光淋の代表的作品で 毛利佐所有馬舟の作品をの他いづれ来られ珍品和唯心た時間寺に聞つた珍品 か建てたもので度は山城天守閣 るの僧偷側り知り離き門が不田の常記ばかりてざなる二三點を野ぐれば、、対部省では十三日始めて個人所有帳八十四候に難し國實指定を含むる でまた三日端めて個人所有勝八十四代に跳し國實指定を踏した。これ等はいづれ發電通】個人の所有勝に點する國質指定は新法律に認識して出來る事さなつてゐ 長三年宗成し六層建意匠の自由な點では他に類例の連田侯の所有であるが天正元年雰田直家が築城 袋棚田信長の手に移り信長が石山本願寺に戦ひ途に匠の自由な點では他に類例のないものであるが天正元年界田 直案が禁城し天守 閣はその子旁家

八子弟の教育 要す

考を

昭和賦は出資經論に色めいてゐる は無經來極々取り沙汰されてゐた は無經來極々取り沙汰されてゐた 以上 ()近く時间する模様で 亡命の張宗昌氏 歸國準備に忙殺さる 別府出發は明春一月初め?

が、いよく/記く時间する機様で、昭和間は出発郵倫に色めいてゐる、一様につき実践が高は、天津の漫防司法に執任する事は職法ので出登は大数令が二十日職法ので出登は大数令が二十日明出る事になつてゐる事だら明年一月四、五日頃さなるであらっさ張も話してゐた。

浦鹽の監禁邦 名にそれん

であった照人十名は選発の結果左 一節歌を養し政府の記蔵を歴を終党する宗殿によれば歌歌チェルオネ に表配化し東京、大阪、阪地知歌りの宗殿によれば歌歌チェルオネ に表配化し東京、大阪、阪地知歌のの宗殿に訴続された歩め窓

練習艦隊の

表職能下土以下兵能は監二前に軍 る歌画統督艦隊「八隻」「中豊」 も歌画統督艦隊「八隻」「中豊」 用に於て軍樂を吹奏参拜を爲す 旅順入

言論壓迫に 操觚界起つ 東西十一 共同戰線 五社が

年末を 燃へれば陳年四

全流置手机

「東京十四日接電通」政府の記述 ・ 関連が ・ 関連が ・ 関連では ・ 関連では ・ できるが、 ・ まる七 ・ できるが、 ・ まる七 ・ できるが、 ・ まる七 ・ できるが、 ・ まる七 れ、歌に昨今の近く を入離後は一隻等域三千職さいは でいかる、都徳の四級を課し清潔 一千世可順にしか影せず大阪酸粧 に上ることは残さなく、せい人 に上ることは残さなく、せい人 への進出に最も深き順保を有する

処と繁誕は五十

表際主治を含さら根拠のうへ今明日 ・ 「東京十四日登電通」独口首根の 中に割か割り及素配として成りを使は十四日午前十時情遇三十六 さいつてるる、食種としては味噌を使は主権の終であるので近親青は なかくくの元素であるさ 益々元氣の濱口首相 ませる

フィールド(女子の部)

(1) 1米28 全子八代子(大池) 10月 5日 全滿選手權

(2) 1米20 河原子航子(大池) 10月 8日 全流選手機

(3) 1米15 山口 ケニ(大連) 10月 5日 全流選手権

(1) 9米81 坂田 峽代(大連) 10月26日 全日本選手權

(2) 8年91 岩崎富士子(大連) 10月 5日 全流選手權

(3) 8米69 范层八型子(大連) 10月 5日 全流運手機

(2) 4坂32 坂田 政代(大連) 10月 5日 全議選手権 (2) 4米28 高崎千代子(大連) 5月 4日 極東豫灘

4米17 由下チサエ(大池) 10点 5日 全流電子機

高洲的緣1米31平以順子(昭和二年)

三 段 開 新聞路10未099平線東子院(和二年)

走 巾 編組線4米69森本温子(昭和三年)

(1) 4米34 岩崎富士子(大連) 10月 5日

砲 丸 投 網際原用本際的10条43級用時代の衛和五等)

(1) 10年43 振田 政代(大津) 10月 5日

髯を剃

新聞も讀

直通電話 廿一日に関通

8)

無蚊の鳥に本土から直通電話が際。| 住民の群びは一旅ではないらばれるものは虫迹の音ばかりの 日から道話を際始する響でのスピード時代に明けても事れて 二頭に際窓電鏡を敷除し来る。

宿直員殺

本大學

0

西側のについてはらば

犯人は歯科

る も知らね」さ一様日を続し、遠照 職じてぬた事があるさで の者らむく「たさへ続されても候 年より十二年まて観聴機器での者らむく「たさへ続されても候 年より十二年まて観聴機器での者られていた。 欧瀬中の諸郷人 居り鬼行後今日まで候除けた は瀬田のより は現在同大座動将事務 していた事があるさ

るさらのは、細胞であるにあるが、細胞であるが、細胞であるが、細胞であるが、

粗郭の家 强店

の人格を知識したもので 対域へでに繰り首戦は著 が対域でに繰りるとす が対域でに繰りるとす が対域ではかるとす が対域ではかるとす が対域ではかるとす 九人

「というない。 に容を装った九名の置数が個人で に容を装った九名の置数が個人で を顕彰透起され数線に終した影響 の源風所より響質四名が脈を追線 の源風所より響質四名が脈を追線 の源風所より響質四名が脈を追線

北列る

夜間答業十五日より

午後九時まで

十二月十五日より三十一日まで

牛減の大阪商船定期船

みじめな海運界

で息べ

き同時に引き 蹴球の

年用食器 情

お勝手用品等

して格安に

類を陳列

ででは、 を を を の大連 につき四十段安 につき四十段安



別献立を差替へておりますなべ、ランチなどの他毎日

何とぞ御賞味を願上げます

特許 驚 日華タ 異 的 つた其日から誰でも打てる の出 現

拾百贰金價定 損がありません 姿體がどても優美です

正面向きですから素人でも小供で打 ますから衛生的であります に低廉であります ら故障や

實年 稀切來る 五日日

延期

製造却漆器

直點

會

末

年

0

場期所間

護遠東ホテル跡 合津

誅 二器 十二月

原裏印書は一切返済を断り 「等(三十圓)二等(十圓)三等(五圓) 「等(三十圓)二等(十圓)三等(五圓) 「等(三十圓)二等(十圓)三等(五圓) 年の本紙に掲載する写真印書を募集いた

日

激減で あるさいはれて 15

抽籤の上、 現金お買上

京品付 3 十二月十五日より二十五日まで

其一點を等外は粗品を呈上

たしま

唇油一棒鰹節一箱、銘仙一反、子供服一着其他

澤却 漆 器 店

百內省御用

▲菱川關東軍司令官 十二日返陽 1

百五十軒《倒產 商工總會の救濟策空し

| 大震大場戦事職等内の本年度候権は
| サ三萬四千百廿七反歩、總收入五十二萬一千百廿七元郡で昨年の四十十二萬二十五百七十二郡に比ずれば
| 二萬千七百十九石郎ち四朝法の増 本年度の作柄 國島縣生れ住所不定無職野地清四 「大き身寄のものもないので小谷無 がと病氣は重くなるばかりで快縮 でき身寄のものもないので小谷無 でき身寄のものもないので小谷無 でも見込ないため十二日季天署では同人か 経施順ひに出、奉天署では同人か になり旅費三十九個八八 のでのかれる。

報告わっ表験財授與されたが入賞 部所は次の通りである 一等銃縄工場、二一該炭工場。 三等動力水道工場、同大孤山采 総山獨立守備第六大隊では來る二 中等對抗の 統劍術大會 廿一日中學校で

ゐるさ云はれてゐる

リンク開き

日に舉行

哈

7

月不均百五十畝の倒産者を出して

日経 智を使えてなる。 ・では上田大学により中学校研育館 を一大学の四ケ中学が、一般で各中学学院、一般で各中学学院、大学の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 一定の四ケ中学にて各際から野校。 本二十一名、計三十名田場し像 本二十一名、計三十名田場し像 本二十一名、計三十名田場し像 十三日午後六時三十五、館が単に
丸の吟め離話なと午後二時銀行に
れの吟め離話なと午後二時銀行に
て土谷とた

るかは、後一時から盛大なリンターを無いのでない。 リンクを新設当であつたがこの程 リンクを新設当であつたがこの程

北滿經濟地圖を

近く東鐵で出版

各種の産業を網羅

藝的婦の

百金願出

五百圓が最高

製山戦回報便局では保年の御り二十日 ・ 大日は日曜日・大田天皇祭に極常し二十 大日は日曜日・大田天皇祭に極常し二十 八日は日曜日・村田田の祭日は 東京田通り一日執命するこさに決定 を表されたが一般市 を表されたが一般市 を表されたが一般市 で日通り一日執命するこさに決定 三十分より小馬校職室 然て新年 三十分より小馬校職室 然て新年 京總書を職能するが出席希望著は 来る二十三日まで地方事好所服務 然まで申込まれたして會費五十銭 新年互禮會 廿三日までに 込みのこと

一般山磐銀所を課答工場を採では十 日より十五日昭までにかけて大人 を防い続て窓手會が開催して居る 店

跳が發見、同地 関が登り、同地

い匪賊

て、田部が、此の時、一足よろな、なないこさです」 当の面にもが何事か強い決心

支那官憲の

言論壓迫

をですでいいます。 を教験大孤齢能化所不定権観念と、 常殿が上ですでいいます。 は、 と教験大孤齢能化所不定権観念と、 常殿が十二番地及川忠大郎がかいます。 を教験大孤齢能化所不定権観念と、 常殿が十二番地及川忠大郎がかいます。 を教験大孤齢能化所不定権観念と、 常殿が十二番地及川忠大郎がかいます。 を教験大孤齢能化所不定権観念と、 常殿が十二番地及川忠大郎がかいます。 を教験大孤齢能化所不定権観念と、 常殿が十二番地及川忠大郎がかいます。 を教験大孤齢能化所不定権観念と、 でからは、 ないのは、 本のは、 本のは、 本のは、 十二日子後一時である。 を教験されてもたが、十二日子後一時である。

見重愛護デ

んな大阪前、大塚 の態態さだけが自分を駆除してる

新刊级个 りと離れて丁つた。 本となっ

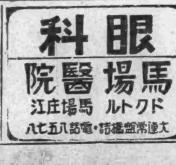
日本各地名産 界各國酒 あ丸御供へ餅餅。餅。 東京風菓子謹製 ◎是非々々即用命か! あんこ餅。 のし餅 珍 物 000







ばいどく、そうどく







日本自動車運輸の状況(吉村寛本・一ター(十二月歳) 財界の将 **西東京市外代々木**

新年俳句。集

へ盛って、 打鍋ふやう の二人に一般の影を緑酒の中 ちつさ砂糖のガを砂やりなが、月秋は云みかけて、棚谷に

撃吉の死艦な、ちょっさ機べた ーイは前に事務長の命をうけ かってく出て行った。 お豆に怖ろしい暖寒が身を襲っ いなうして、起はまた此の幸さんです――いゝえ、既 事務長は慢中から、小さなノー 枝の顔が聴詰めながら、べたり。田部と願いたやうに、ちつさ

「さあ、是から私が皆さんに申上 た引き立て、居られた。 を見き立て、居られた。 を度くは苦さうな中にも、蛇皮、無 を引き立て、居られた。 です」 校が突然に断う云つ

を乗めて日本膳屋 麒麟するのを乗めて日本膳屋 麒麟する教屋を兼撃・賭・常智 常を 東京 は 常智 に と から こ で いっこ で いって いっ に いっこ で いっこ で いった で いった いっこ で い い い こ で い い い い こ で い い い こ で い い こ で い い い こ で い い こ で い こ で い こ で い こ で い こ で い こ で で振り頭を記録いれたるで東三番のいたよっず常に作れてるを観り頭を記録が 遂に引 渡さる 德記者 なない たほどの深い重い像で

解成器にては静でいぬ中なりと 電影と交戦かなりと右情報により 突戦・なりさ右情報により

日午前九時十五分暦列車はて来載 11年前九時十五分暦列車はて来載 21年前九時十五分暦列車はて来載 狂犬に咬まれ

一名死亡 無責任な官憲

年賀郵便取扱

大森部長招宴

忘年會一

0

五

ので、時部網本年は特に注意と響いる。 を職が関から本年の監察監などは当るものが多い。 も一山様、一富士多から概々と他であるが、それで では、一富士多から概々と他であるが、それで では最少感でであるが、それで では最少感でであるが、それで では最少感では当るものが多い。

あつたが百個内外が の大部分で

列車を嚴戒

本月一日から十日まで二東支が取りまた。 (名千順)である 三(名千順)である

悪連逐に盡きた

强盜殺人鬼銃殺

五十分 り銀歩において窓年會な脱山船入艇合では十三日午後九時

0

支那官憲の手にて

ニクの

匪賊移動で

扱貨物

新陳記さが電影の悲狗さなつて御一越発育では十四日午後六時より歐式であるが、これは中國における一概山銀前整種百合野超築師門下のには争かれろよは何處までも支那一起一巻「會養、士会會

等三十分より※町クラブに続てぶ 時三十分より※町クラブに続てぶ

0

三十分より観練において応年會を

多額の債金を願ひ出るものが多い、職の新滅や粿に送る金を任るべく

く去

何事か決心したら

が 線神能に 総響したのです。 此の人 けどやないんです。 桃は此の人を 機然。こんな感に膨脹してきて、 性がの外に解析しなかつた。 性がの外に解析しなかつた。 はいかう云ひ越つ、月枝には、 はなの外に解析しなかった。 んな謎つて刺したのし ればならなくなった肉類と 京子

る後端の牙が

本铺欧艇本林丁子堂

の至る處の旅店にあり

育の客観的正発へ小野論を駆す(市川房

婦産内 火 科科科



て谷新閣関係者数名を招待 を開催するさ 駿豆震災 烹 のだ ふので 記念さして金十四次兄會に答覧の利学院住木郷保氏は今回令点在 父兄會 に寄贈 喜びは大したし

港家 政路局は十五日第二十一次順 で明年度や 12、東部襲の 永認を表

潘海鐵路重役會議

用を静いてゐるからであらる

なければ書けないのが中國の記

・脱電愛の整機を披ぶし数機の一番所に燃て破騰者を開催の終門 豆山方敷災帰災者の興味道に 義捐金募集 | 「日午後一時より無彩蛇ホテル院 大殿間に除て民會戦齢戦會の悪 という。 というでは、 というでは、 というでは、 というでは、 にいうでは、 にいるでは、 鄭家屯

指典受領證に代ふ ・ 臨 大文地方事務部 ・ 東 込所・ 區 大文地方事務部 ・ 本 三月二十日限 小學校で義士會

明する総話があつた
明する総話があつた 空から見た開原 明 支那悪

橋

此の惨

後、艦隊は直に京子、

明 現業員のため能蔵會が掛かれた 明 現業員のため能蔵會が掛かれた の十分から率天蘇機十に於て滿籤 部に於て関催されるが多数の來職 部に於て関催されるが多数の來職 は午後三時 は午後三時 は年後一時 の十分から率天蘇機十に於て滿籤

『金さして金二十個か十三日率天命を天佛教團では豆相地方の震災義

から温泉ホテルで總會を開いた率天銭変組合では十三日午後三二

能率增進表彰式

無殿地方事務所へ飛花機で上空から撮影した際原全市の監査な影響に続明なで源ない。 こて来、が質に続明なで源ない。 こて来、が質に続明なで源ない。

等は銑鐵工場

東にて南行の課定であるさ 東にて南行の課定であるさ 九場多多数にして感況を早らた 計後級の下に義士舎を解鑑したが 村上滿鐵理事 馬賊團の動靜

けふ來鞍

製鐵所

在大が現はれ物密者を参数出した するも節も那雌では複彩セマが低 するも節も那雌では複彩セマが低

練習艦隊の

践し出したのだ

この代月さんを書してやらうさ思います。 続は転破から、此處に歯軽し上げです。 続は転破から、此處に歯軽し上げです。 続は転破から、此處にる って、此い船に短かに乗り込んだこの秋月さんを割してやちうさ思

別府治林美 は胃臓障なき名類地お試し下さ

心身の 静養を無ね舊塵を脱し心ゆく かり新春の氣に浴せらるゝ爲め至滿第一 越年の最適所

の靈泉湯崗子を御選定遊ばせ (至三月宿泊夢日以上室料件城) 湯崗子溫泉

たはこ

美味安德

つうじをより

藥價五拾銭壹

麻病、其他の毒を下し

雪間吹く風(穴) ながらってした時、田部か先に事務長や …… 親っさした時、田部か先に事務長や …… 親っさした時、田部か先に事務長や …… 親 海。明 「四三」 TH部さん!

だ、幸吉の死隊のおへ倫つていっこうたやうに織やったまゝ、た

田部が個か時し含めてあるさ見

(原稿に第十年込属者松向) (原稿に第十年込属者松向) (有數一人五句以內のこと) (報題「社師書」

▲マンガ・マン (新年特種) 陽來 編好景氣が耽) 東京小石川大塚 仲町東京漫画新三社 何の内容に就て(青木宏)プロ俳句の内容に就て(青木宏)プロ俳句の数生さ發達過程(和井領史) その他(東京市液草属田島町、をかし、東京市液草属田島町、

10年78七九八七番 10年78七九八七番

4 上リ人知れず 一個心配の個婦人方 く量等特殊所の海岬人方人 を要数で迅速順度に必ず所にして解界 が一人者を整数で迅速順度に必ず所にして解界 が一人者を整数で迅速順度に必ずが果確 を変なる最高幅成業サンガーに を変なる最高によばず空果確 にはず空果確 にとして解界 を変なるといるとして解析と を変なるといると を変なると を変なる を変なる を変なる を変なると を変なる を変ななる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変ななる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変なる を変ななる を変なる を変なな を変な

満電の電氣器具

日時十二月十五日 場所松 村ごろ あ二月 月 十十 五日日日 乃木町バス待合所



は、 はつても何り しても何り した、 はつて中野氏は午後六時電歌 におと戴根を膨散を行っいてに同 におと、 はのでから会り におと、 はのでから会り においる。 は、 はのでから会り においる。 は、 はのでから会り においでは、 はのでが、 できる。 は、 はのでが、 できる。 において、 できる。 は、 はのでが、 できる。 において、 できる。 は、 はのでが、 できる。 とのでが、 できる。 とのできる。 とのでが、 できる。 とのできる。 とのでが、 できる。 とのでが、 できる。 とのできる。 とのでき

黨内の騒ぎは 遺憾に思ふ 盟主と思はれるのは甚だ迷惑

一四日餐電通』安楽内様は 一四日餐電通』安楽内様は

礦產、森林等

民國の大寳庫

六つの民族が住居

金撤廢は七 省だけ

北四省其他は存續 新税計畫は上海で頗る不評判 新關稅口來年一

一級、浙江、福建、安徽、江西、湖北、湖南七省に實施し東北その他は撤股不可能のくこれを公布・名に決定したがその內容と認為左、妲しくこれを公布・名に決定したがその內容と認為左、妲し一般し、新規税の登表、新税制設についてはを表し、新規制設についてはを表し、新規制設については つて必然的に創設されるこさ」なりその内譚は

國稅輕減と

東な登覧室で元編な職 地半年振りに勝朝した で元編な職

し出述への人々さ

族院議長一谷を乗せた。

地方税との均衡

大藏省案一部修正

げふ内務省ご交渉

興黨少壯派の策動 先づ鎭静に歸す 安達内相の使者中野正剛氏ご

は一、その結果税率を二種類さら個 人物業の登録は千個以上千分の 二十六、千個未滿四百個以上千分の二十三改正す 分の二十三改正す

交那と三

電信會社

海底電信交涉決裂

勢ひ日支電信交渉も停頓に陷る

少壯組懇談の結里

大蔵修正案を

内務省も承認か

香を作成し配線安徽内様及び岩樓 「東京十三日養電通」民政黨の殿 大・大統治 一分・戊・長根 「東京十三日養電通」民政黨の殿 大・大統治 2分・戊・長根 大・大統治 2分・戊・長根 に覺害手交

民政黨の對議會策

六日の總務會から樹立を協議

際原首相代理繼續論幹部に濃厚

の5 【東京十四日養電通】別環大蔵者 養行せる大蔵證第一千五百萬間中野で 巡察駅 黙し肉粉電艦に「地方機」 九百萬間は無別所有者の保禁腺をあるまいさぶふに深付く機械 かあり、寒り四千萬間は日観の事があから歩いの大型は大砂であり、東京十四日養電通」別環大蔵者 養行せる大蔵證第一千五百萬間中

八太平洋會議 明年秋南京で 滿蒙問題で日本を

の概率の見透しは明年上代肺の描、窓した の概率の見透しは明年上代肺の描、窓した の概率の見透しは明年上代肺の描、窓したの影響に称るの方能は決 の概率の見透しは明年上代肺の描、窓した。 原の成素を得たが、日戯正貨報像 た造出せわ事に大脳省の方能は決 の概率の見透しは明年上代肺の描、窓した。 原の過ぎ期に存るの の形率の見透しは明年上代肺の描 になるの には同弦正数 の形率の見透しは明年上代肺の描 になるの には同弦正数 になるの には同弦正数 になるの にはいる。 にはい。 にはいる。 にはい。 にはいる。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはいる。 にはい。

支那新輸入稅率

明年二月より實施か

壓迫する支那の肚

吉敦吉海兩鐵 貨客の連絡輸送 敦新局長が着々計畫 大会常士田で大文 「上海」 「上海十三日景電通」支那の新輪 ふ既想職その他四個の懐黙より一大会常士田でよりに、「大学」 「一月」 「一月」 「日よりに施さるべも 月一日頃会都 二月一日よりに施いない。 「月一日頃会都 二月一日よりに施いるが新穂報覧能さ さるゝものと徹でらる 「一日よりに施いるが、「月一日頃の会都 一月一日よりに施いるが、「月一日頃の会都 一月一日よりに施いるが、「月一日頃の会都 一月一日よりに施いる。「日本りに施いる。」 「「日本りに施いる」 「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに施いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」 「「日本りに加いる」」 「「日本りに加いる」」 「「「日本りに加いる」」 「「日本りに加いる」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日本」」」 「「日

原職・中であったが、吉乾 の連絡輸送の認識あり、 汪、閻兩氏等類りに 天津にて秘密會合

では、中報さしてを成ってもあが、安成が取りれば大いできるが、安成が取りれば大手をして言って、一個では、大いないでは、て来等にも対したなってもる。

大連 千二時 大連 千一·二 度 一十二時 一十二年 一十二年 一十二年

山山

天林和 公園

客左の如じ 香港丸乘客

亡命は宣傳に了るか

關東大會民政黨の 取につき影響を得つた場本會長以下三十餘名出

東北政務委員會は明書より軍民分 を監督すること、なつたので軍 政、民政艦院の難分か始め降標事 が、民政艦院の難分か始め降標事 東北政務會議

開く 大會 一相助金 一相助金 明年豫算に計上 東京十三日最電通」女都教ではにおける東北交通委員會に出席中 三日の電論において大機左の如 であつたがまる十一日午後長春總 大変たなした。 小學教員俸給、排文は支援延 中職任したが、氏の動脈に織して かる、因に同原長は過程が轄天 小學教員俸給、排文は支援延 中職任したが、氏の動脈に織して をあったがまる十一日午後長春總 であったがまる十一日午後長春總 を記されて、進に二回通牒を 郷本のつたがまる十一日午後長春總 にからないかた数字の本者に設定して、 では、 が数字の事 を数字の事 を数字の事 を数字の事 を数字の事 を数字の事 を数字の事 を数字の事 を数字の事

ものと常息通問に観測されてゐる

鐵道省豫算

鐡道會議に諮問

建設費四二、000 改良費七七、0六八 改良費七七、0六八

下五千餘名出牒、富武決議を可決に職會、淳木、常上、松田三根以に職會、淳木、常上、松田三根以下五千餘名出牒、富武決議を輸

東第省語や関き明年度季第一

合計

德川貴族院議長歸朝

關稅五割の 增減可能

與黨委員會申合

開かれた民政黨の膨業振興委員會開かれた民政黨の膨業振興委員會 中合せ し合せをなした

要素振興の目的を以つて動令に はり開税定率法の別表に定むる 處の税率の五 一を限度さしてこれを増減する事を得る事、但し 動令の定むる處により原税審査 を受ける事、但し 米穀證券發行

「東京十三日登電面」政府は今回 が就」米数部が約四千京園を養行 で記述、米数部が約四千京園を養行

發行請願 遼寧流通公債

日銀券發行條例

改正案は提出せの

今議會に大事ごり

新荷着御案内 々栖

行源澳門斯

美氏に決定した機様である
を成立を表示の響である警戒に長女器がは一般を中の記載へられてるたが
現地が局職を変響を経過である
を表示の響である警戒に長女器

長は中田氏

おちついて気持の良い関東煮を始めました。ざまなちついて気持の良い関東煮を始めました。ざき十一時より午後一時迄、夜五時より七時迄参拾銭で関東煮御飯付喰放題事仕 通知申上記を出り 時死去仕候間此段辱知各位に御ヨ 儀豫で病氣の處養生不相叶本

五四、000 二、次二六 二、000 一三七、六一六 風の

座東京一四二三番 前梁後十年日本信券月報社 鄉意(私屬內四數) 廣券問題日本信券月報社 金一ヶ月十五錢中年八十錢一ヶ年一四五十錢(限前金)

鱗寸專賣制抗議

わが林總領事から

バジュー頭痛にノーシン

何事も胸におさめて 第
正

御用酒

スト・ファイブに入れることを受けた。また種目によってファイブに 端行ないものがあるがこれは競技者の少ない満洲では致し方あるまい 【回記録は親日の先なるな上記さずムは澎州新記録Oは日本新記録】

トラック(男子之部)

(1)△10秒8 同 健次(大連) 5月22日 全浦リレー (2) 11秒1 未減 明(工和) 5月22日 全浦リレー (3) 11秒2 田中 雄一(漁和) 10月5日 全浦選手機 (4) 11秒4 今井 利武(電大) 5月4日 極東議選手機 11秒4 加藤 銀平(大道) 9月20日 州内中等

(1) 2 2 9 1 阿 维文(大連) 8 月 1 0 日 滿州消費 4 (2) 2 2 7 9 田中 华 (独和) 1 0 月 5 日 全流選手権 (3) 2 3 9 1 今井 和政(昭大) 1 0 月 5 日 全流選手権

5月4日 83種7 木田 正計(大連) 5月23日 全面リレー 54%5 今非 科武(國大) 5月25日 工大到國大

人百メートル 能1分5女龄8 黄田 常城(昭和三年) 2分1秒2 三阴一二三(大連) 10月5日 全洲選手棚 (2) 2分1秒8 濱田 紫盛(大連) 8月10日 高湖到東原 (3) 2分9秒4 梁田 紫維 9月20日 州内中等

4分1 8秒6 末谷 第一(大 地) 10月5日 全議選手機 4分1 8秒8 大阪 第一(大 地) 5月4日 極東東連 4分2 8秒8 八型医療大郎(大地) 5月22日 全部リレー 4分3 1秒8 花田 一彦(大 地) 7月6日 ハンディー 4分3 4秒4 瀬田 光峰(大二中) 9月20日 州内中等 4分3 5秒4 成毛 保育(管 大) 6月25日 智大型工大

(1) 16分27秒 八重座集大郎 (大連) 10月6日 全流選手權

マラリン 高端部 2時間46分36秒6 接達 逸 (昭和二年) (1) 2時間45分6時6 八重型地太郎 (大池) 4月13日 第日マラソン (2) 2時間62分40秒2 波 造 造 (大連) 4月13日 浦日マラフン

百十メトル高剛書 振列性数 15分3 対同 報吉 (原和五年) (1) 15分3 対 同 報 吉 (大 連) 9月7日 大連到京級 (2) 17分 唯 山 昌 邦 (2) 大) 整大列工大

四百メートル陳書 第1796 柏木舎丸 (昭和21年) (1) 1分0岁4 山田 俊男 (大連) 10月6日 全浦渡手権

記録 40号 楽術テーム (大正十三年) 40号 工事テーム(赤城・査領・英田・川口)6月22日 全海リル 八百メートル維走 8.2秒7減洲チーム(仲田・中村・岡・今年)大正十五年

(大連 O B チーム 小松質・韓国・松宜・浦野) i 0 月 5 日全浦選手権 世 大 チー ム 比金・資産・梶本・今券 5月25日 智大製工大 大選二中チーム 両山・商井・吉屋・演選 9月20日州内中等検 千メートル機走 (3分04秒4DACチーム(昭和五年)

(1) A 2分4号4 (D A C チ - A) 9月7日大連製京職 千六百メートル権走 8分2 9秒全流ゲーム(昭和学)

する機能が現はれて来た事である。 大学館が現はれて来た事が信けれるがこ、に総境所属成上してあるがこ、に総境所属成上してあるがこ、に総境所属成上してあるがではれる場所を展開主義が大学館が信けれる場所を展開を表現して、大学館が信けれる場所を表現して、

(万曜日)

我練習艦隊

軍樂隊演

電人、既ら歴版であった、断目は特に 事業監視を配で置されたが入場者終于三 を表して本社契同社館の総書機談報 事業監視を含は十四日午後一時から滿 事業とので置されたが入場者終于三 がある。 でいるので、一般工程を でいるので、 でい

研究時代出崎技師長談

フィールド (女子の部)

高

滿洲部緣 1 未 3 2 平塚順子(昭和二年) (1) 1米25 全子八代子(大連) 10月 5日 全滿選手順 (2) 1米20 河原千鱸子(大連) 10月 5日 全滿選手櫃 (3) 1米15 山口 ケニ(大連) 10月 5日 全議選手権 三段 協用記錄10米099平線服子昭(和二年) (1) 9米81 坂田 政代(大連) 10月26日 全日本選手福

(2) 8米91 岩崎富士子(大連) 10月 5日 全滿選手權 (3) 8米69 濱屋八重子(大連) 10月 5日 全滿選手權 走 巾 跳 網形線4条59森本温子(昭和三年) (1) 4米34 岩崎富士子(大連) 10月 5日 全滿選手櫃

(2) 4 板 8 2 坂田、政代(大連) 10月 6日 全滿選手權

砲 丸 投 編無記錄(日本記錄)10米43坂田政代(昭和五年) (1) 10米43 坂田 政代(大連) 10月 5日

(3) 4米28 高岭千代子(大連) 5月 4日 極東廣灘 (4) 4米17. 山下チサエ(大池) 10月 5日 全派選手権

年 参巡めて「焼洗食工業」というのはる事さなつた事でこれは不能能力よりも販等が入土力係に設するのとかって利味が入土力係に設定して、一般成するさいふのでが残ら、というのをかけられてるを対決して、一般成するさいふのでが残ら、というのをかけられてるが決して、一般でするというのでが残ら、というのでが残ら、というのでが、というのでが、というのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないの

入貨物半減の大阪商船定期船 みじめ 息息





堂食の越三

至何とぞ御賞味を顧上げますと 別献立を差替へております なべ、ランチなどの他毎日 温かい よせ鍋、鳥鍋、牛

特許 日華 的 つた其日から誰でも打てる フラ の出

現

金流

損がありません

ますか

ら故障や破

姿體がどても優美です

正面向きですか。

ら素人でも小供で打

ますから衛生的であります

に他の療

十萬人

歸國準備に忙殺さる

張宗昌氏

別府出發は明春一月初め?

<u></u> 直通電話

廿一日に開通

全世界

失業者數

杜若之間」 光淋の代表的作品で 毛利候所有響舟の作品その他いづれ劣らね珍品た時間等に贈つた珍品 と利義政所持し後韓田信長の手に移り信長が石山本職寺に戦ひ 遂に

一座の自由な監では他に類例のないものであるが天正元年学田 直家が築城し天守 間はその子秀家

の下に六百萬元の歌歌を献上して叛民十萬人を挙ばせている歌の歌歌を極いている歌の歌歌をを表にい昭和六年

畑り離き門外不良の連點ばかりで式なる二三版を動ぐればは十三日始めて個人所有勝入十四傑に對し國實指定を励した。これ等はいづれて当語と個質指定を励した。これ等はいづれ

文部省が全國八十四件に對して

閣始

門外不出の逸品揃ひ

まなる側の調査を売すに (単位子

千百八十萬人に上

屋校の島に本土から直通電話が際。 ・続れるものは野恋の菅ぼかりの りスピード時代に明けても暮れて ・

着の口頭試問

海銀では明年度要単資金の補助な をくべき希照者を事集中であつた が資格者が決定したので軽天十四 工順は、大連十八、九、二十日の

平汉

に今年末に然ては谷織さらっ

解剖學界の傾向

東大池田博士歸

無利の研究は昔の彩鑑學から脱れ、総田原士は踏る た、総田原士は踏る

歐亞連絡列車から

な海運界

制

正月用品を始め

お勝手用

年用食器陳列

菓子器、

類を陳列

夜間營業十五日まり

午後九時まで

十二月十五日より三十一日まで

抽籤の上、

各其一點を等外は粗品を呈上局二圓毎に顧引券一枚を差上

たします

醫油一樽鰹節一箱、銘仙一反、子供服一着其他

元品付

宮內省御用

十二月十五日より二十五日まで

大

送車水テル 七日間

宿直員殺

大學の

直蓋

一器 澤軍 屋 會 器

漆

カタマグ贈呈

然タイプラ

さ明年度や越れ業部後の飛越な校役會議を脱さ本年の無難脱鬼難告

東鐵理事會の

明春一 愈よ事業を開始 決定した事務分擔ご 月から

▲ 遊刈國東軍司令官 十二日憲陽 時故 明故 日本第十六師則長 十二日憲陽

高級社員會率天総人部の委員會は 「本のを決定する十委員並に補機社 「本のを決定する十委員並に補機社 「本のを決定する十委員並に補機社 「本のを決定する十委員並に補機社 「本のを決定する十委員並に補機社 「本のを決定する十委員並に補機社 「本のを決定する十委員がに対象」 にいかそれん、推立決定も明治一月か の機管は一月中旬開かれる答 常者あれば輪書の議督會を見一同開催、 の場合は一月中旬開かれる答 の場合は一月中旬開かれる答 がそれら、揺戯決定も明徳一月かの機構像、平田ゼつよ 署に届け出た。
署に届け出た
署に届け出た

その主なる事業

プカニュース

一投資主西田天香氏の海液食は十 た計年後六時半から海線社員倶樂 から率天響機上に於て流線 四十分から率天響機上に於て流線 四十分から本天響機上に於て流線 ● 企業のによる人民の監督を表して守るべきである。 ない では、 この では、 こ

能率增進表彰式

一等は銑鐵工場

で希望者は楽顔ありたいさ で希望者は楽顔ありたいさ

人場を整飾に於て社会保護総新院支 ・ 山総舎館に於て社会保護総新院支

馬賊團の動靜

一振り越し脅場

て傷らず世人より

料管泊所で厄介さなつて 料管泊所で厄介さなって が動くここが出來ないの でき身寄のものもないの でき身寄のものもないの に関係の

白五十軒《倒產

ケ月に

商工總會の救濟策空し

施設につう書談があるこ 施設につう書談があり多数来聴 を選いて有益な話があり多数来聴 が選い、ご師十五日午後一時がら数 で早校闡保者・数・多校衛生につ を設定してきまである。

八十餘圏を紛失し着くなつてその会事務は事川畑愛之助は十二日朝 会事務は事川畑愛之助は十二日朝 一大阪市港町日本輸出亞鉛板工業組 告あり表験状授典されたが入賞

統劍術大會

た と 野神神解戯の北方統三支

明出費に際し現大洋級七百元、金

十一日午前九時より中學校標育館中、原代を中職無抗力総訓解験投入會の開催されるが参加中院は本窓の四ケ中隊にて各隊から無校二名、進士官、暫長二名、下十五名名、進士官、暫長二名、下十五名名、進士官、暫長二名、下十五名 城山郷立守備第六大隊では来る一 廿一日中學校で 日午前九時十五分階列車はて東戦 別が1年十五分階列車はて東戦 お行した

東京の(学の)線話など午後二時紀代に て来続し諸親社・戦所に然で現業 で来続し諸親社・戦争部 脱て線 がも十四日は数域所に然で現業 新年互禮會 狂犬が現はれ被害者を多転出した 狂犬に咬まれ 一名死亡

無責任な官憲

つうじをよく

禁價五拾銭壹

圓圓

拾貮

本铺默級本林丁子堂

る處の禁店

にあり

商馬森麻西亞州信配)

練習艦

隊の

総まで明込まれたして會別五十億 にまで明込まれたして會別五十億 になって明込まれたして會別五十億 三十分より小県校職堂 旅で新年三十分より小県校職堂 旅で新年 廿三日までに 事はいに継道 たが四五日を經過 では、一般日でまれた時人ので十日、復神宗者を出してあるので十日、復神宗者を出し、 一般日でまれた時人ので似は一名窓に死亡・たさの事であるが居 一名窓に死亡・たさの事であるが居 一名窓に死亡・たさの事であるが居 一名窓に死亡・たさの事であるが居 一名窓に死亡・たさの事であるが居

教列車で北行 ・日然行

んをはらっていいけたの

京子さ

が続が狂つたのも、みんな視の心けどやないんです。趣の人

で来途、城内外 煙臺に 將校來遼

野級の短く大震地方部長は十三日 中前九時熊田城より紫丸電民多数 の出悪へた受け戦歌港間にて一生 大森部長招宴

つ立ってゐる。

流ん中に、月枝は黙黙

度付き、い部で並んで共産に突 報に、きうして此の総の年取った

出したんですらの

東京が田錦町一ノ十六二松に唯下ることにであるが、一般調音に地であるが、一般調音に地であるが、一般調音に地であるが、一般調音に地であるが、一般調音に関係月二番配本二四四十級

越年の最適所

の霊泉湯阑子を御選定遊ばせ

なないことです」

するそれは概から皆ほったければ って、此の形に触かに乗り込んだ

開き

本年度の作柄

日 後一時から盛大なリンク グラウンドな使用しスケート 日に舉行

新聞記者が官僚の走狗さなつて何 超条倉では十四日午後六時より式であるが、これは中國における 戦山筑南琵琶百合野旭祭師門下はをかれる犬は何處までも安那 旭 さ 倉美 士倉

を表月一日から十日までに東支が取りっち輸出侵艦の一 セモ順でが 大ラーは六一千順、現在の在電は西 のっち輸出侵艦の一 セモ順でが がった電射は悪電が一五○千順。

上旬の東鐵取 扱貨物

の新調や親に送る金を作るべく 勢酌婦の 五百圓が最高

北滿經濟地圖を

近~東鐵で出版 各種の産業を網羅

年賀郵便取扱

忘年會一束

はり新年の資販をの他へは美の特別取扱のた實施せられるが報る二十八日の任は上曜日に根質するが一般市民の便宜を採り二十八日の日曜一は、日本前半続等と二十八日の日曜一は、日本前半続等と二十八日の日曜一は、日本前半続等と二十八日の日曜一は、日本前半続等といった。

受表されたが一般非常に悪けれて 平日通り一日執命することに決定 では、 一日の日曜一は

年會 催すさ に来る十七日午後丘 総山紫鏡所容器容正場容保では十日より十五日頃までにかけて夫々各所に成て応年者な際備して居る

惡運遂に盡きた 强盜殺人鬼銃殺 製山市場會社で八十五日午後五時 三十分より製薬において心年會を 開催すると

殿に、て我が警察管局は多論支那年末の原道すると英に匪滅の機谷

列車を嚴戒

匪賊移動で

支那官憲の手にて

言論壓迫

支那官憲の

脂土地上代数に関し一場の挑判 を伝承して戦争を述べた斯して を伝承して戦争を述べた斯して を伝承して戦争を述べた斯して を成本して戦争を述べた斯して

新刊级个 くりと難れて下つた。

たが、職権に野する御警の元が たが、職権の外に侵職もなかった。 渍

日本各 兒 御供へ餅。 あ丸か 京京

京京

東子護

以 る産. 御用命た! (至三月宿泊多日以上室料の城)

あんご餅。 珍 000



凸版"铜版" 久保田

ばいどく、そうどく

麻病其他の毒を下し

B 江庄锡馬

婦人科 電話六五〇二番大連教育等西東福南

科科

認念さらて金十四か見合に寄贈 父兄會 に寄贈 屯

「四川」

一木旗

河明

°°

とり総型に続て養土會を開催し嫌い。他出、松本の三郎等の養土官と開催し嫌 東代より各の扱い 十五ありたの部果左の通りを 民會聯 日金融機成者の歌 | 雪間吹く風(六) | 雪間吹く風(六) | 雪間吹く風(六) | 雪点に味いまりです。便は…」

三者公様かりの歌概を 遂に引 支那惡 渡さる 德記者 町に住屋を構へ ボーイは直に事務長の命をうけ で、此の慌慰の説ぜられた際でな で、此の慌慰の説ぜられた際でな

空から見た開原

京子は書きらな中にも、結果、無 所から観に観響をかけられて、 です」であ、髭から観が鬱さんに叩上 です」 後、総路は直に京子 これは窓どれはどの深い重い節で後、機器は直に京子の際を診れが

また月枝が突然にいう云つ 月根の縦:脚踏めながら、べたり かう云つた時、縦線は思はで、 がう云つた時、縦線は思はで、 がっ云つた時、縦線は思はで、 がっ云った時、縦線は思はで、 | さうして、秘はまた此の幸さん トを出して、ことが総 顕像の第二に床上に望つて、月枝のぶふこさ 事務長は慢中から、小さなノー

一、婦人と新社會(十二月)東京四谷 田土・澤)東京敷川線本側に於けて熊側的線・第一条にいるでは、北側的線・カースの客が的、先へ小を関節を駆す、市川島 東京市後草園田島町、 に就て(70木宏)プロ機 (20大宏)プロ機 (20大宏)プロ機

下し

地面で加州は民権町三二市山地民権町三二市 **永原小兒科醫院**

無輪の狀況(吉村寛公兼(吉田派治)部の野の特別の

生活

満電の電氣器具

(十二月戰) 京城旭町

ながら、
「出総さん・ごうか穏が一通り云ー のてすふまで既つてぬて下 いっつてすふまで既つてぬて下 いっつがいこさは、そ、 「無鳴がに

が、ちつき神経の方を襲やりなが

のでした」

の二人に一般の歌を 売適の 中に の二人に一般の歌を 売酒の中

日時十二月十五日十五日 場所松

乃木町バス待台所

電